

# ★えんがる 議会だより



第60回遠軽がんぼう夏まつり ～千人踊り～

平成23年第2回定例議会……………P 2～3

●ここが聞きたい!! 一般質問……………P 4～7

●報告・意見書……………P 8～9

●所管事務調査報告……………P 10～12

# 平成23年第2回定例会

8月1日から町営バス（遠軽丸瀬布線）路線延長！！



自滝 あけぼの団地



南小学校

## 工事請負契約締結議案可決！

- あけぼの団地公営住宅建替工事（3号棟）
- 遠軽小学校給食施設新築工事（建築主体・設備）
- 南小学校大規模改修工事（建築主体）
- ジオパーク拠点施設整備工事

平成23年第2回遠軽町議会（定例会）は、6月14日に招集され、6月17日までの4日間の会期で開かれました。

冒頭、佐々木町長から東日本大震災への遠軽町の対応や「遠軽町文化センター」等を考える会の開催内容などの行政報告と、提出案件の要旨説明が行われました。

表彰1件、人権擁護委員候補者の推薦1件、条例の制定1件、条例の一部改正4件、平成23年度一般会計補正予算1件、平成23年度特別会計補正予算1件、工事請負契約の締結5件、財産の取得3件などについて審議しました。

また、議員から意見書3件が提案され、原案のとおり可決しました。

一般質問については、4人の議員が登壇し、町民生活に関わる課題等について質しました。

報告案件は、第三セクターの経営状況など3件、平成22年度一般会計・公営下水道事業特別会計の繰越明許費について2件の報告がありました。

審議案件は、平成22年度一般会計・特別会計補正予算の専決処分6件、

慎重審議の結果、提案されたすべての議案を原案のとおり可決しました。

また、議員から意見書3件が提案され、原案のとおり可決しました。



埋蔵文化財センター



## 主な審議内容

### 補正 予算

◆平成23年度遠軽町一般会計補正予算(第1号)  
歳入歳出の総額に26  
19万2千円を追加し、  
総額を133億4819  
万2千円としました。

(主な歳出内訳)

○町営バス運行事業

37万円

○まちづくり振興基金積

立金 456万円

○家畜防疫推進事業補助

金 197万円

○中央幹線排水路流量調

査業務委託料

200万円

○林業・木材産業構造改

革事業補助金

760万円

○栄行団地公営住宅設計

業務委託料 850万円



### 条例制定

◆遠軽町社会教育中期計  
画策定委員会条例

遠軽町社会教育中期計  
画を策定するための委員  
会を設置するため、本条  
例を制定するものです。

条例の一部を改正するも  
の です。

◆遠軽町体育館条例等

遠軽町の体育施設等の  
管理を指定管理者に行わ  
せることができるように  
するため、本条例の一部  
を改正する条例を定める  
ものです。

### 条例改正

◆遠軽町税条例

◆遠軽町国民健康保険税  
条例

地方税法の一部を改正  
する法律及び地方税法施  
行令の一部を改正する政  
令の施行に伴い、それぞ  
れ本条例の一部を改正す  
るものです。

◆遠軽町公営バスに関す  
る条例

遠軽丸瀬布線の通行区  
間を延長することにより、  
利用者の利便性の確保と  
利用促進を図るため、本

### 工事請負契約

◎平成23年度あけぼの団  
地公営住宅建替工事(3  
号棟)(建築主体)

指名競争入札の結果、  
大同産業開発㈱と496  
1万2500円で契約を  
締結しています。  
工事の完成は、平成24  
年1月30日の予定です。

◎平成23年度遠軽小学校  
給食施設新築工事(建築  
主体)

指名競争入札の結果、  
山口・茶木経常建設共同

企業体と8914万5千  
円で契約を締結していま  
す。

工事の完成は、平成24  
年3月9日の予定です。

◎平成23年度遠軽小学校  
給食施設新築工事(設備)

指名競争入札の結果、  
(有)サトウ熱器と6342  
万円で契約を締結してい  
ます。

工事の完成は、平成24  
年3月9日の予定です。

◎平成23年度南小学校大  
規模改修工事(建築主体)

指名競争入札の結果、  
日新・丸尾経常建設共同  
企業体と6226万5千  
円で契約を締結していま  
す。

工事の完成は、平成23  
年11月18日の予定です。

◎平成23年度ジオパーク  
拠点施設整備工事

指名競争入札の結果、  
大同産業開発㈱と615  
3万円で契約を締結して

### 財産取得

います。  
工事の完成は、平成24  
年2月29日の予定です。

◎平成23年度遠軽町公営  
バス購入

指名競争入札の結果、  
(有)国枝モータースと25  
96万6500円で契約  
を締結しています。

◎平成23年度13トン級除  
雪ドーザ購入

指名競争入札の結果、  
㈱佐渡自動車整備工場と  
1415万4千円で契約  
を締結しています。

◎平成23年度戸籍電算シ  
ステム機器等購入

リコージャパン㈱と2  
782万5千円で随意契  
約を締結しています。

# ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

## 一般質問

高橋眞千子 議員



問

太陽の丘は  
コスモス園だけじゃない！

答

太陽の丘、花を中心に！  
バスの利用者は少ない

問

太陽の丘えんがる公園の今後について

① 太陽の丘は、コスモスの花だけではありません。春に咲く、桜、芝ざくら、ツツジの時期に高齢者の方などが「花見」ができるよう、バス運行の考えはありますか。

② ツツジの花をコスモス畑の下の方に移してはどうでしょうか。

答

③ 太陽の丘は「虹、光インガルシ」の3つのエリア構想がありました。「虹のエリア」以外、残された2つのエリアについての今後の構想をお聞かせください。

④ コスモス畑まで、花で誘導するような花壇作りの考えはありませんか。

町長

① コスモスフェスタ時期にバスを運行させましたが、利用される方は少ないのが実態です。運行を拡大することには、利用者の状況、民間事業者への影響など、課題が多くあることから、しばらく状況を見たいと思います。

② ツツジの場所を移す議論は、以前にもありました。クロフネツツジは順

調に育っていますが、カバレンゲツツジは、土壌の関係なので大きくなっています。ツツジの花を移すには、相当額のお金が必要なので、思いついた決断ができない状況でした。今後、何か考えていかなければならないと思っています。

③ 当面、花ということで全力を注いできました。ようやくコスモスの花が認知されてきたと思っています。当面は、花を重点的にやっていきます。

商工観光課長

④ 道路などの関係もあり、担当部局とも相談が必要です。コスモスが発芽するかどうかが、別の所ではありますが、一部実験したいと考えています。

問

公共施設の節電対策について

答

デマンドコントローラーで節電

問

東日本大震災、原発事故後、さらに町として節電対策をすべきです。

町長

節電の対策として、白滝総合支所と遠軽図書館に「デマンドコントローラー」(高圧設備の最大需要電力の低減装置)を設置して最高需要電力を抑制することにより基本料金も低く抑えることができ、経費の節減にもなっています。

今後期待できる施設等への設置を検討していきます。

又、防犯灯のLED化

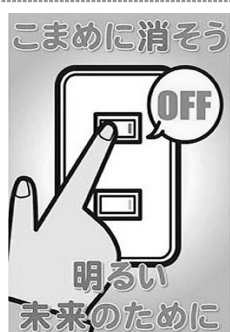
の試行を実施します。

これまでも、昼休みの消灯、パソコンも小まめに電源を切るなどの節電対策を実施しており、大震災以降は、さらに、職場家庭での節電協力なども要請したところです。

デマンドコントローラーとは

需用電力(デマンド)を常時監視し、契約電力を超えないように回路負荷を制御する装置。

電力コストを低減するために電力変化を常時監視し、30分ごとの最大電力を連続的に予測。あらかじめ設定した電力を超える恐れがある場合、事前に警報を出し、負荷を自動的に遮断し、最大電力に余裕ができた時に自動復帰させる制御装置のことです。



# ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

## 一般質問

松田 良一 議員



### 問

毎年、エゾシカやヒグマによる農作物、飼料作物への被害が大変多く、町も毎年相当額の有害鳥獣駆除対策費を、計上をしています。

また、道も本年度より有害鳥獣駆除対策強化のために、エゾシカ対策室を新設しています。

農家自身も自己防衛による駆除対策に動いています。

しかしながら、畑が広範囲にあるため、猟友会による駆除依頼をしなければなりません。

また、猟友会については、各地域内での駆除のみと聞いています。

各地域の猟友会の会員数に差があり、会員の多い遠軽地域の猟友会に、隣接する他の地域の駆除

### 問

有害鳥獣駆除対策について

### 答

道・遠軽町内猟友会とも協議しながら進めていく

依頼ができるよう柔軟な対応はできませんか。

また、猟友会は、駆除による鹿などの輸送が大変苦労しているとのこと。道を通じて自衛隊などによる輸送などの支援依頼ができませんか。

### 町長

本町においても、エゾシカによる小麦、ビートの農業被害額は、平成22年度で8400万円となっています。

このため、鳥獣による被害額防止のための特別措置法に基づき、遠軽町

鳥獣被害防止計画を策定し、猟友会の協力を得ながら、エゾシカの個体数調整やヒグマ、キツネ、

カラスなどの駆除を実施しています。

一方、高齢化等により

全道的にハンター数が減少しており、町としても、北海道及び湧別町との共催で狩猟免許出前教室を開催するなど、ハンターなどの育成支援にも取り組んでいます。

本町における有害鳥獣駆除の状況ですが、エゾシカ及びヒグマについては、道の許可を得て有害鳥獣駆除を実施しています。駆除にあたっては、各地域において迅速な対応を必要とすることから、合併前の4地域ごとに許可を受けてきています。

隣接する他の地域の猟友会に駆除依頼ができるよう柔軟な対応ができないかということですが、

来年度以降、猟友会各部署と協議していきます。

次に、自衛隊員が銃器

によりエゾシカの駆除を行うことは、自衛隊法により不可能とのことですが、本年2月に白糠町で実施した自衛隊による支援について、本町においても実施できないか、道とも協議をしていきます。



町としても、猟友会各部署の協力を得て、エゾシカを初めとする有害鳥獣駆除対策に取り組む必要があると考えます。

## 質問、答弁は要約されています。

議会だよりでは質問・答弁の内容を議員それぞれが要約したものを載せております。質問・答弁の全文については、スペースの都合から載せることができませんが、詳しくお知りになりたい方は遠軽町議会事務局へお問い合わせください。

なお、全文記載の会議録が出来上がるまで、当該議会が終了後、約3か月かかります。



# ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

## 一般質問

岩澤 武征 議員



**問**

政府は、昨年6月「子ども、子育て新システムの基本制度案要綱」を発表しました。

「新システム」は「利用者本位全ての子ども・子育て家庭に必要な良質のサービスを提供」する制度をつくるとうたっていますが、この内容を見ると様々な点で問題を含んでいます。

町の保育の実施責任がなくなり、今よりもサービスが低下するのではないかと、基本料金以外に払う料金が増えないか、入園で選別が起らないか、職員の身分はどうなるのかなど不安があります。

**町長**

幼保一体化については、幼稚園、保育所認定子ども園の垣根を取



白滝保育所

**問**

幼稚園・保育所の一体化に町はどのように対応するのか

**答**

国の動向を見極めながら実施していく

り払い幼稚園教育要領と保育所指針を統合し、小学校指導要領との整合性

一貫性を確保した新たな「子ども指針」を創設するということです。

法案が成立していないため、国の動向を見極めながら実施していきます。いずれにしても、町の子どもたちはしっかり遠軽町が育てます。いろいろ

**問**

改定介護保険法について

**答**

利用者の意見を尊重する

な人たちの意見を聞きながら実施します。

最大限尊重すること」といった付帯決議が採択されています。

本町におきましても法案の把握を早急に行うとともに、新たな制度導入に際しては、利用者の意思を最大限尊重した対応を行っていきます。

**問**

介護法は、本人や家族、介護職員の負担を増やし、さらには市町村に事業実施の責任を押し付ける内容になっています。

**問** 防災計画の見直しを検討する

**問**

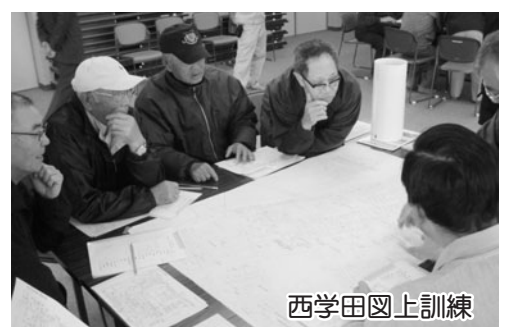
「要支援」者に対するサービスは、従来通りの保険給付にするのかどうか町の判断になります。

**町長**

衆議院本会議において、「要支援認定者が、介護予防サービスと本事業を選択する意思を

町民の命と財産を守るために最悪の事態を想定した備えが必要です。特に避難所となる公共施設の耐震化の実態は。

また備蓄品の補充は計画的に進める必要があります。



西学田図上訓練

**町長**

避難所となる学校や公民館など公共施設の耐震化について、6月1日現在で指定避難施設は46カ所であり、そのうち昭和56年度以前に建設され耐震化が図られていない施設については公民館の21カ所です。

備蓄品の補充整備は、災害用毛布のほか今年度から新たに災害用カーペットやおかゆ、飲料水などの非常用食料についても5か年計画で購入を予定しています。

災害時の備蓄品の充実を図っていきます。

# ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

## 一般質問

杉本 信一 議員



問

地域経済活性化の施策は

答

助成金や補助金等は  
トータルで考える

問

本年度の町長施政執行方針の中で「元気な産業と活力あるまちづくり」に対する取り組みに関して、町長は各分野に対する具体的な施策を示され、その中でもプレミアム建設券の発行に関しては、予想以上の成果を上げました。

しかしながら、長引く景気低迷に加え東日本大震災の影響はこれから大きく影を落としてくると予想される中で、さらなる地域活性化の施策が必要と考えます。

一、オホーツクえんがる産業振興協議会の今後の展望はどのようなことと考えていますか。

二、商工業振興助成金制度を遠軽地区にも拡大する考えはありませんか。

三、競争入札に係る地域貢献度加算制度導入の考えはありませんか。

四、プレミアム付き商品券事業に再度取り組み考えはありませんか。

町長

オホーツクえんがる産業振興協議会に関する施策の推進について、地域経済の活性化に繋げることが目的とした農工商連携の一環です。

本年2回目のアスパラフェアを開催し、その生産量・参加飲食店も拡大してきました。今後は、

同組織の中で加工品の生産や土産品の開発なども視野に入れ検討します。

商工業振興助成金制度の遠軽地区への拡大とプレミアム付き商品券事業

に関しては、町独自の事業として行うには事業の

緊急度、施策の優先度を

見極めることが重要です。

競争入札に係る地域貢献度加算制度導入に関しては、地域経済の活性化、雇用の維持確保などを図るべく、平成25年度から審査項目に地域貢献の項目を追加する予定です。

再問 農工商連携のよ

うな事業を進めるにはしっかりと将来のビジョンを持ち、その道のスペシャリストを育てていくことは急務と考えます。

商工観光課長

将来的にはご当地グルメのような物や加工品の開発につなげるよう考えています。

再問

商工業振興助成金制度は創設から現在ま

で利用実績は皆無です。

是非とも遠軽地区へ拡大をすべきです。

町長

助成金やプレミアム付き商品券、企業促進の補助金などはトータルで考え、必要に応じて検討課題と考えます。

問

職員の資質向上と意識改革を  
まちづくりに活かせるような研修が必要

問

町の存続には職員の資質の向上が不可欠であり、同時にまちづくりに積極的に関わっていくための意識改革がどうしても必要と考えます。

今後の職員研修の在り方はどのように考えます

か。

町長

近年、地方自治体の自己責任・自己決定という政策力が求められています。

これまで以上にまちづくりに活かせるよう研修の質を高めていきます。

再問

町独自の政策を打ち出し、職員が自発的に街の将来を考え、民間のまちづくり団体と一緒に将来のビジョンを作り上げることが必要です。

町独自で将来を見据えた政策力のための研修が必要と考えますが。

総務課長

現状は町村会や道研修センター主催の研修がほとんどで、その内容も毎年変わっていません。

一方では、若手職員の中にも自発的に何かをしようという動きは出てきている中、町独自のスキルアップのための研修も必要と考えています。

# 報告

## 株式会社 生田原振興公社 第20期事業報告

### ○ノースキング

入浴利用者については、『ペアの日』『入浴・食事セット券』など、町内外に広く浸透させ、また、『ポイントカード』や『年間パスポート』を発行するなど、地域との密着やリピーターの確保に努力してきました。

年間利用実績は5万6027人で、前年比1337人増となりました。宿泊利用者については、インターネット予約サービスやホームページによる施設や地域の紹介などにより、好評をいただいています。

年間利用実績は9854人で、前年比804人増となりました。

### ○ちゃちゃワールド

お客様の満足度向上などのため、企画展を多数



ちゃちゃワールド

開催するなど、来館者促進に取り組みました。

年間利用実績は2万2853人で、前年比164人増となりました。

### ○公社収益

売上高は1億4606万円（前期1億4924万円）、経常利益は438万円（前期69万円）と減収増益となりました。

### ○年間集客数

ノースキングが、レストランを含めて延べ10万6800人、ちゃちゃワールドが2万2800人、合わせて13万人近い町内外のお客様が訪れました。

## 株式会社 遠軽農業振興公社 第21期事業報告

今年も地場農産物を主原料とした冷凍食品の加工販売を中心に端境期の受託加工にも積極的に取り組んでまいりました。

今期は、春先の低温によって農作物全体の生育に遅れが生じましたが、6月からの好天により順調に回復しました。

しかし、7月以降の記録的な猛暑の影響により、インゲンや枝豆が近年にない減収量となりました。主力のカボチャについては、平年並みの収量を確保でき、取扱加工実績数量では、計画加工数量に対し113・5%の524トンの製品を確保できました。

受託加工については、タマネギの皮むき加工を継続して実施しましたが、道内産地での天候不順などにより青果市場で品薄の広がりを見せ、原料の確保に苦慮しました。委託加工料を除く売上

高は1億6366万円（前期1億7359万円）、経常利益では147万円（前期460万円）と減収減益となりましたが、一般管理費については経費の節減に努め2216万円（前期比較288万円減）でした。

経営安定化のため町から交付を受けた補助金2800万円については、借入金償還と老朽化に伴う機械等の更新費用に充当した結果、純資産額で612万円（前期△2015万円）となり、債務超過の解消が図られました。

## 株式会社 フォーレストパーク 第16期事業報告

平成22年度は、資本金2割減資した上で、民間出資金全てについて町に譲渡し、遠軽町100%出資の会社として、新体制のもとにスタートしました。11月20日から人工降雪作業を開始し準備を進め、12月23日にオープンしま

した。

今年度は、テレキットリフトからバンビリフトに変更しましたが、補助員の配置などにより順調に運行できました。

今シーズンは、仮オープンを12月12日に予定していましたが、降雪不足により仮オープンはできませんでした。

しかし、12月25日のまとまった降雪により、過去10年以上もなかった12月の全面滑走が可能になり、また、シーズンを通して風雪害もなく、地元のご協力により、輸送延入員前年比113・2%、売上高前年比119・5%という実績でした。

### ○営業実績概要

・営業日数	96日
・リフト利用者数	26万6763人
・売上高	2602万8020円



## 意見書

議員提案により3件の意見書を提出し、いずれも原案のとおり可決し、関係行政庁などへ送付しました。

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など平成24年度国家予算編成における教育予算確保・拡充を求める意見書（提出者 高橋眞千子議員他4人）

1 義務教育費国庫負担制度を堅持ならびに国の負担率を2分の1に復元すること。  
2 文科省「新・教職員定数改善計画」の確実な実施と「30人以下学級」の早期実現と教職員定数の改善を早期実現すること。

と。

当面は、小学校2年生から中学校3年生の学級編成標準を順次改定すること。

3 給食費、修学旅行費、実習費など保護者負担の軽減・解消や就学保障の充実、教材費、図書費など、国の責任で教育予算の十分な確保、拡充を行うこと。

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣（地域主権推進担当）



地方財政の充実を求める意見書  
（提出者 今村則康議員他4人）

1 被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分に講ずること。

2 医療、福祉分野の人材確保をはじめとするセーフティネット対策の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、平成24年度地方財政計画・地方交付税総額を確保すること。

3 地方財源の充実をはかるため、国・地方の税収配分5・5を実現する税源委譲と格差是正のための地方交付税確保、地方消費税の充実、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的な対策を進めること。

（提出先）内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当大臣）

当、経済産業大臣

国のエネルギー政策の抜本的な見直しを求める意見書  
（提出者 高橋眞千子議員他10人）

1 自然エネルギーの活用を推進すること。  
2 太陽光発電の活用に対する国の大幅な支援策を講ずること。

3 節電、省エネルギーの一層の取組みを強化し、新エネルギービジョンを早急に策定し、取り組むこと。

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣



太陽光パネル

## 遠軽町議会ホームページをご覧ください。

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 遠軽町議会議員名簿    | <input type="checkbox"/> 請願・陳情の手続き     |
| <input type="checkbox"/> 常任委員会等名簿     | <input type="checkbox"/> 意見書・決議        |
| <input type="checkbox"/> 遠軽町議会議員会派別名簿 | <input type="checkbox"/> 常任委員会所管事務調査   |
| <input type="checkbox"/> えんがる議会だより    | <input type="checkbox"/> 常任委員会所管事務調査報告 |
| <input type="checkbox"/> 一般質問通告（概要）   | <input type="checkbox"/> 議会改革のながれ      |

©遠軽町議会ホームページアドレス <http://engaru.jp/gikai>



## 委員会活動



# 所管事務調査

## 総務・文教

4月28日

- ・4月1日付人事異動について
- ・組織機構の一部見直しについて
- ・東日本大震災に係る遠軽町の支援状況について
- ・公営バス路線の見直しについて（遠軽丸瀬布線）
- ・住宅用太陽光発電システムモニター事業について
- ・時空間地理情報システム（GIS）の成果について

5月26日

- ・6月議会（定例会）提出案件について
- ・6月議会（定例会）議案について
- ・遠軽町名誉町民条例の制定について
- ・平成22年度一般会計補

正予算（専決処分）について（財政課）

平成23年度一般会計補

正予算について（財政課）

遠軽町公営バスに関する条例の一部改正について

第2次遠軽町行政改革の推進について

遠軽町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例施行規則の一部改正について

6月議会（定例会）補正予算について（教育部総務課）

平成22年度遠軽町教育委員会点検・評価報告書について

遠軽町社会教育中期計画策定委員会条例の制定について

遠軽町体育館条例等の一部改正について

温水プールの臨時開館日（ゴールデンウィーク）における利用状況について

## 民生

4月19日

- ・4月1日付人事異動について
- ・遠軽清掃センター焼却施設のダイオキシン類

・遠軽町図書館の臨時開館日（ゴールデンウィーク）における利用状況について

・平成23年度町税条例等の改正について

6月14日

・意見書の取扱いについて

・遠軽町社会教育中期計画策定委員会条例の制定について

6月16日

・委員会付託案件について

7月1日

・社会体育施設等の指定管理者制度導入内容について

・文化センター等を考える会について

・第2次遠軽町行政改革大綱について

測定分析結果について

平成22年度人口動態について

・ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン予防接種について

・子宮頸がんワクチン予防接種について

・子ども手当支給事業について

平成23年度保育所入所状況について

・組織機構の一部見直しについて

・東日本大震災に係る遠軽町の支援状況について

5月26日

・平成22年度介護保険特別会計補正予算（専決

処分）について

平成23年度一般会計補正予算について

平成22年度国民健康保険特別会計補正予算（専決処分）について

平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算（専決処分）について

平成22年度一般会計補正予算（専決処分）について

平成23年度一般会計補正予算（歳入）について

平成22年度児童館の利用状況について

平成22年度児童クラブの利用状況について

遠軽町名誉町民条例の制定について

遠軽町公営バスに関する条例の一部改正について

遠軽町社会教育中期計画策定委員会条例の制

定について



埋蔵文化財センター視察

# 委員会活動

## 経済

- 定について
- 遠軽町体育館条例等の一部改正について
- 6月16日
- 財産の取得（平成23年度戸籍電算システム機器等購入）について
- 7月4日
- 遠軽町高齢者保健福祉計画に係る「日常生活圏域ニーズ調査」の実施について
- 老人福祉施設整備関係等について
- 平成23年度遠軽町廃棄物処理施設機能診断について
- 平成22年度町税の納入状況について
- プライム生田原の水源地関係について
- 文化センター等を考える会について
- 埋蔵文化財センター施設視察調査
- 4月25日
- 4月1日付人事異動について
- 平成23年度観光イベント事業について
- 「えんがるプレミアム建設券」発行事業について
- 東日本大震災に係る遠軽町の支援状況について
- 5月25日
- 公営バス路線の見直しについて（遠軽丸瀬布線）
- 生活交通路線の見直しについて（遠軽丸瀬布線）
- 遠軽町公営バスに関する条例の一部改正について
- 平成22年度一般会計補正予算（専決処分）について
- 平成23年度一般会計補正予算について
- 平成23年度一般会計補正予算について
- 平成22年度繰越明許費繰越計算書について
- 遠軽町名誉町民条例の制定について
- 遠軽町社会教育中期計画策定委員会条例の制定について
- 遠軽町体育館条例等の

## 議会運営

- 一部改正について
- 6月14日
- 意見書の取扱いについて
- 7月7日
- いこいの森センターハウスについて
- 社会体育施設等の指定管理者制度導入内容について
- 文化センター等を考える会について
- 6月8日
- 平成23年第2回遠軽町



北2丁目団地視察

## 北海道町村議会議員研修会

### 議員研修会

（7/5 於・札幌市）

過日、町村議員研修会が開催され、16名の議員が出席しました。

『今後の政党政治の行方』  
東京大学 先端技術科学研究センター教授  
御厨 貴 氏

氏は、東日本大震災の復興構想会議議長代理を務めている方です。

冒頭、今の政党政治は行方不明の状態であると、自公政権と民主政権を、結果重視か経過重視の違いと一刀両断。

現在の二大政党では、これからの社会に対応できないとする一方で、新しいタイプの政治家出現の兆しもあると指摘していました。

当分は、混沌のままに揺れると予想。短期的には、期間限定の大連立の可能性にも言及していました。

## 『今後の日本経済展望』 経済評論家

内橋 克人 氏

氏は、大震災以後のわが国の取るべき行動について、多くの時間を割いて講演しました。

被災者は現在、基本的生存権を侵されている状態で、将来構想も必要だが、現在をどうするか問われている中で、国連憲章批准国としての態をなしていないと、鋭く糾弾していました。

地方議員に対しては、成熟した基礎的自治体の構成員としての自覚を強調し、国会議員・地方議員を問わず、政治的知性を喪失せぬよう訴えていました。

これからの理念として、F（フーズ）食料・農業 E（エナジー）再生可能エネルギー C（ケア）介護・看護を通してのコミュニティの再生

この3点を挙げていました。

（荒井 範明）



## 広 報

議会（定例会）審議予定について

6月17日

・平成23年第2回遠軽町議会（定例会）追加議案について

3月23日

・議会だより第22号の編集について

4月8日

・議会だより第22号の校正について

4月15日

・議会だより第22号の校正について

6月14日

・議会だより第23号の発行スケジュールについて

6月29日

・議会だより第23号の編集について

・紙面担当の割り振りについて

7月15日

・議会だより第23号の校正について

## 6月議会を 傍聴して

### 傍聴席

遠軽町東町3丁目

福井 信夫さん

①傍聴年月日 6月16日

②傍聴回数 10回程度

③感想

退職後、住んでいる町の状況を少しでも知りたいたいと思い、時間が取れば「敷居が高い」議会傍聴を始めました。

傍聴席からの目線が、議長を中心に町長、町職員幹部と同じで、町職員幹部の多さにも驚きました。

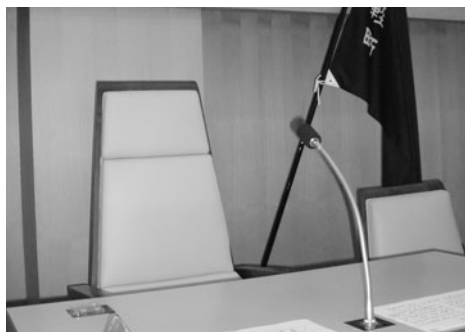
町長答弁は、専門用語が多く早口で、予備知識がないと聞き取れないことがありました。議論している内容は、我々町民の生活に直結している問題で、より多くの町民に知ってもらう工夫が必要と感じます。

議会広報

「えんがる議会だより」  
入選!!

6月10日、札幌で行われた北海道町村議会議長会第62回定期総会で、優良議会広報表彰が行われ、「えんがる議会だより」が見事入選を果たしました。

6月議会定例会の開会に先立ちまして、前田議長から荒井広報特別委員長へ表彰状と盾が伝達されました。



「議会だより」だけでは字数に制限があり十分と思えます。インターネット中継などの工夫が求められると思います。

## 編集後記

阪神淡路大震災から早16年目を迎え、教訓が風化しつつあるとの指摘がなされる中、ちまたでは危機管理や防災対策に関する各種の書籍が店頭に並び、国民に警鐘を鳴らし続けています。

そんな中、3月11日三陸沖で発生した千年に一度といわれるほどの大地震と大津波が、人々の命と生活を一瞬のうちに奪い去りました。さらに、追い打ちをかけるように



福島第一原発の重大事故が起こり、あれからもう4か月が立ちました。どうしてこれほど過去の教訓が生かされず、毎度、同じような指摘がなされるのか、国民にとっては何ともあきれた社会と映っていることでしょうか。かといって危機管理や安全管理に関して、一般社会が成熟しているかといえば必ずしもそうではありません。

このような日本社会の現状を見るにつけ、それら対応のまずさの背景にはこれまで見逃されてきた、あるいは十分にメスを入れてこなかった何か根源的な問題が潜んでいるのではないだろうかといった疑問が頭から離れません。

我が町も安心を脅かすさまざまな危機への備えを確立し、行政と住民が一体となつて、災害に強いまちづくりに取り組み、早急に危機管理組織・体制を構築する必要があるのではないのでしょうか。

広報特別委員会

今村 則康